公共政策大学院 (專門職大学院) http://www.sg.kyoto-u.ac.jp/



数少ない専門職大学院の一つとして、中央・地方レベルにおける国内行政および立法機関、国際機関、NPO/NGO、シンクタンク等の職業に従事する者のほか、一般企業において公共的な業務に携わる者など、公共政策分野の高度専門職業人、すなわち、優れた教養と公共政策の立案・遂行・評価に必要な専門的知識を有し、高い倫理的責任感を備えた人材を育成することを教育目標とし、この教育目標を実現するために、公共政策分野における理論的知見と実務的素養を架橋し、さらに実務における総合的能力と専門的能力との結合を旨とするカリキュラムを提供します。

■教育理念と教育目標

わが国のみならず世界的な規模で国家や公共団体その他の公共部門を大きく揺るがせている近年の激しい社会的変動を前にして、それらの公共部門が直面している諸課題に適切に対応しうる的確な判断力と柔軟な思考力をそなえた、また、公共的な役割をになう強い倫理感をもった高度専門職業人を養成することを目的としています。

京都大学の長い知的伝統を踏まえた専門職大学院として、 広い視野と深い洞察力を養うとともに現実の政策課題に適 切に対処しうる実践的な知見を教授することを目標とし、 高度専門職業人に求められる専門的能力、すなわち、社会的 変化を歴史的視野で原理的に考察する知的能力、多元的価 値の中で真の公共的利益を判断する洞察力、その公共的利 益を実現する仕組みを提示する制度設計能力、策定された 政策・制度を効果的に運用する実践能力、そして政策・制度 を冷静に分析する評価能力などを、適切な教育課程を通して十分に涵養することを、教育上の理念としています。

そのような能力を効果的に涵養しうる教育課程を確保するため、多様な人的資源を擁する指導的な公共政策大学院として、法学・政治学・経済学・経営学を有機的に結合した科目、実務経験者による具体的事例を素材とした科目、公共的世界を原理的・歴史的視点から展望する科目などを提供するだけでなく、一般的知識を習得する基本科目から公共政策専門家としての基礎知識を共有する専門基礎科目を経てスペシャリストとしての能力を育成するクラスター科目にいたる体系的な履修システムを整備するとともに、学生ひとり一人に履修及び進路に関する指導教員を配置して履修・進路決定上の相談に応ずる個別指導体制を設けるなど、きめ細かな学修上の対応に努めています。

■公共政策大学院の特色

公共的職務に従事するものに共通に求められるゼネラリスト能力の養成を基盤に、1.政策分析・評価、2.行政組織間交渉、3.地球共生の3種のスペシャリスト能力の発展的育成を目指しており、これをクラスター制履修モデルに編成し、カリキュラムを構成しています。

基 本 科 目 公共政策の専門家として基礎となる基本知識を習得する科目群(12単位)

専門基礎科目 政策形成・実施・評価に携わる者にとって共通に必要な素養と展開科目 群の学習内容の基盤になる統括的な理論と知識を学ぶ科目群(8単位)

民 践 科 目 公共部門に必要な情報の処理・活用・発信等のツールを学ぶ科目群(6単位)

展 開 科 目 公共政策に関わる領域を俯瞰し、具体的課題について深い理解と分析 を可能とする能力を習得する科目群

事 例 研 究 少人数クラスで、具体的政策を素材とする事例を取り扱いながら精密な分析と討論を行う科目群(ターム・ペーパーやインターンシップを含む)

クラスター制履修モデルは、4種類の科目群からそれぞれ必要単位数を修得すること によって、それにふさわしい能力を身につけることができるよう構成されています。